



学校だより

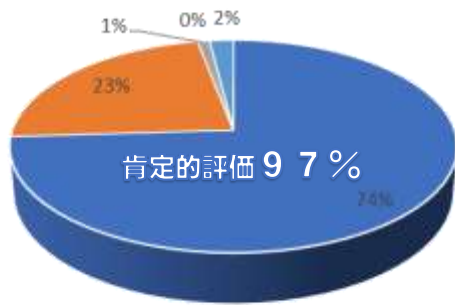
墨田区立第三吾嬬小学校
校長 川中子登志雄
令和3年2月20日
臨時号



回収率 全家庭数90%超！

(昨年度52%)

自分の子どもを三吾小に入学させて良かった



- 当てはまる
- やや当てはまる
- あまり当てはまらない
- 当てはまらない
- 判断できない

令和2年12月に実施した「令和2年度「本校の教育活動についてのアンケート(学校評価保護者アンケート)」にご協力いただき、誠にありがとうございました。コロナ禍での学校の取組に対する保護者の皆様のご意見を集約する、大変重要なアンケート調査でした。おかげさまで、昨年同様、インターネット上のアンケートフォームを使っての実施でしたが、90%を超える保護者の皆様からのご回答をいただき、教職員一同感激しております。今の三吾小の、保護者と

学校の良い関係を象徴する高い数値です。お忙しい中ご協力いただき、本当にありがとうございました。

令和2年度 学校評価保護者アンケート集計結果

| ※ 以下は5段階で回答のアンケート結果 その他は別紙参照 | 単位% | 当てはまる | やや当てはまる | 肯定(昨年度差) | あまり当てはまらない | 当てはまらない | 否定 | 判断できない | 考察 |
|---|-----|-------|------------|----------|------------|---------|----|--|----|
| 1 学校は、「三吾あいことば」を通して、自主自立・自律の生活態度が身に付くよう、指導に努めている。 | 35 | 44 | 79 (+12.3) | 3 | 1 | 4 | 17 | 「判断できない」の回答が多い。保護者に指導内容などを知らせていきたい。 | |
| 2 自分の子供は、「三吾あいことば」を意識して生活している。 | 5 | 43 | 58 (+15.6) | 24 | 13 | 37 | 15 | 児童アンケートでは肯定的な回答が多い。保護者に取組みや児童の変容を知らせていきたい。 | |
| 3 学校は、指導法の改善に努め、よりわかりやすい授業の工夫に取り組んでいる。 | 33 | 42 | 75 - | 5 | 1 | 6 | 19 | 公開がなかったことで、「判断できない」の回答が多くなっていると思われる。 | |
| 4 自分の子供は、国語科・算数科の学習の基礎・基本が定着している。 | 29 | 55 | 84 (+11.2) | 11 | 9 | 13 | 2 | | |
| 5 自分の子供は、理科・社会科・生活科の学習の基礎・基本が定着している。 | 20 | 45 | 69 (+11.9) | 15 | 3 | 18 | 13 | 国算と比較すると、肯定的な回答が少なく、「判断できない」が多い。家庭学習の課題として出す機会が少ない？生活科は判断しづらい？ | |
| 6 自分の子供は、楽しみながら外国語(英語)の学習に取り組んでいる。 | 41 | 33 | 74 (+8.4) | 10 | 3 | 13 | 13 | 児童アンケートでは肯定的な回答が多い。保護者に取組みや児童の変容を知らせていきたい。 | |
| 7 学校は、家庭学習を推進する手だて(宿題等)を適切にこっている。 | 34 | 48 | 82 (+20.7) | 10 | 3 | 13 | 5 | | |
| 8 自分の子供は、家庭学習にしっかり取り組んでいる。 | 32 | 45 | 77 (+11.5) | 15 | 3 | 22 | 1 | 「しっかり」という部分で、取組時間や取組み方に課題を感じていると考えられる。 | |
| 9 学校は、避難訓練や安全指導などを通して安全教育に取り組んでいる。 | 59 | 35 | 94 (+8.9) | 1 | 1 | 2 | 6 | | |
| 10 自分の子供は、安全や危機回避に対する意識が高まっている。 | 31 | 53 | 84 (+17.9) | 13 | 1 | 14 | 3 | | |
| 11 学校は、基本的な人権を侵害する言動を「見逃さない、許さない」指導を徹底し、組織的に、差別やいじめの防止に取り組んでいる。 | 29 | 36 | 65 (+15.9) | 5 | 1 | 6 | 29 | 公開などがなかったことで、「判断できない」が多くなっていると思われる。取組みを知らせていきたい。 | |
| 12 学校は、アンケート、校長「語りサロン」などにより、積極的に保護者の意見を取り入れ、学校の経営改善に取り組んでいる。 | 49 | 32 | 81 (+12.9) | 3 | 1 | 4 | 15 | | |
| 13 学校は、学校公開、学校だより、ホームページ、メール、校長室動画通信、保護者会、個人面談などにより、情報発信に努めている。 | 69 | 28 | 97 (+13.7) | 1 | 0 | 1 | 2 | | |
| 14 自分は、上記の取組により、学校の取組や様子が把握できている。 | 33 | 53 | 86 (+10.9) | 0 | 1 | 9 | 5 | | |
| 15 自分の子供を第三吾嬬小学校に入学させてよかった。 | 74 | 22 | 97 (+13.7) | 1 | 0 | 1 | 2 | | |



今年度も、アンケートは学校の取組そのものを見る「取組指標」(質問 1, 3, 7, 9, 11, 12, 13)と、その取組の結果としての子どもたちの変容等を見る「成果指標」(2, 4, 5, 6, 8, 10, 14)の両方の評価をいただいています。

○ 取組指標から見えること

結果から見ると、今年度の学校の「取組」については概ね高い評価をいただくことができました。その中で、肯定的評価が80%未満となった項目については、特に質問11のように、「判断できない」の回答が高く、学校の取組がよく伝わっていないことが明らかになりました。確かに、今年度は、学校公開もほとんどできず、学校の状況がわかりにくかったことと思います。学校行事にしても、秋の体育学習発表会、冬の展覧会のみでの公開となり、残念ながら12月5日に行われた開校145周年記念式典さえ参観していただくことができませんでした。そのため、本年度は区内のICT活用の先駆的学校として、積極的にYouTubeを活用した「校長室動画通信」等の配信を行ってまいりました。1月までに公開した動画通信(朝礼講話、オンライン保護者会、オンライン展覧会、オンライン書写展など)、英語の暗唱解説動画は62本で、計16,508回のアクセスがありました。1月までのホームページのアクセス数は、252,501回(昨年度の年間アクセス数の2倍)となっています。また、今年度は向島地区の代表として「墨田区情報発信推進校」に選ばれ、光栄にも、テレビや新聞等のメディアでも学校の様子が何度も報道されました。これらの取組については、質問13「学校は、…情報発信に努めている」に対して、97%もの肯定的評価をいただきました。

○ 成果指標から見えること

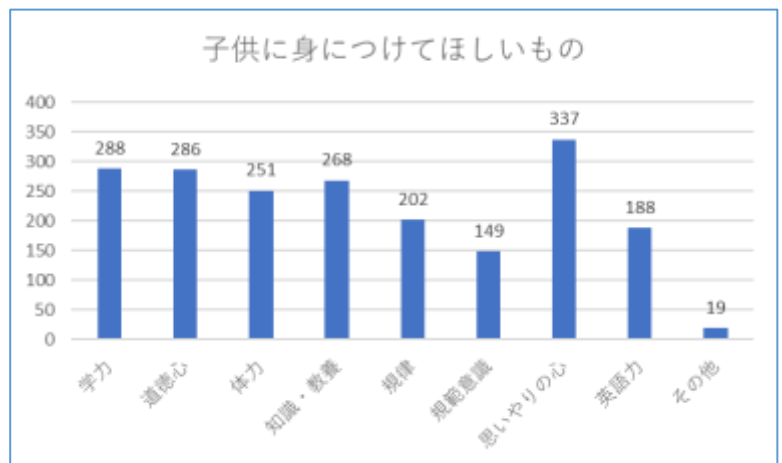
取組の「成果」については、すべての項目で昨年度の結果を上回り向上が見られたものの、まだまだ不十分なところがあります。例えば、児童の主体性を育むために、本校では「三吾あいことば」を使って指導をしています。今年度は、朝礼の講話で取り上げたり、週の生活目標にして意識させたりした結果、児童アンケートでは「三吾あいことばを意識して生活することができた」と回答した児童は、全体の84.5%でした。子どもたちの「意識」が「行動の変容」につながるまでには、時間がかかりますが、「自ら学び、考え、行動する人」になれるように、これからも工夫をしていきたいと思えます。

そんな中で、質問4の「自分の子供は、国語科・算数科の学習の基礎・基本が定着している」に84%の肯定的な回答があったことは、大変素晴らしいことです。理科・社会、外国語(英語)等についても、授業改善を中心により一層の努力をしてまいります。

○ 意識調査から見えること

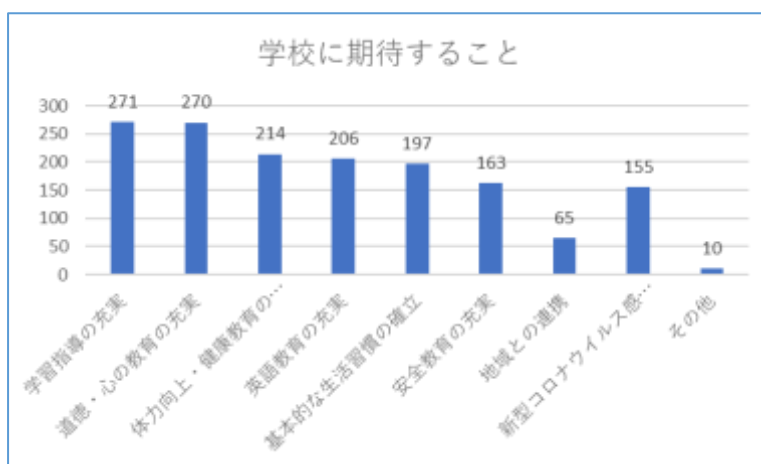
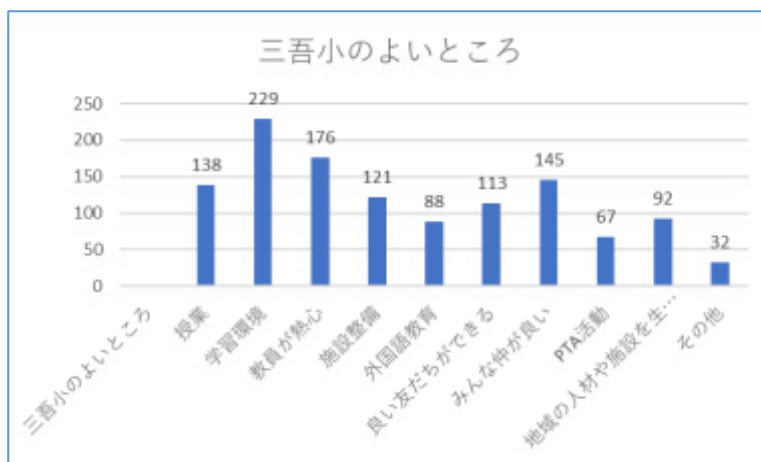
毎年行っている意識調査ですが、質問16「子供に身につけてほしいもの」は、今年も「思いやりの心」が一番多い回答となりました。「その他」の回答の中には、「自己肯定感」というご意見をいただき、その通りだと思えました。子どもたちが自分に自信をもてるような取組を意識的・計画的に進めていきたいと思えます。

質問17「第三吾嬬小学校の良いところ」については、「学習環境」や「教員が熱心」、「みんな仲が良い」などが多く見られました。



「その他」の意見には、「校長・副校長が熱心」などのご意見もいただき、大変うれしく思っております。また、PTA 活動についても肯定的に評価していただいた方が15%ほどいました。

質問18「今後の三吾小に期待すること」では、「学習指導の充実」と「道徳・心の教育の充実」がほぼ同数でトップでした。今年度新たに項目に追加した「新型コロナウイルス感染予防対策」も、高い回答になっています。また、学校として力を入れている「地域との連携」については、選択項目中最も低い回答となりました。また、「その他」の意見として、「自分で考える力」「リモート授業の選択的自由」「学校の教育目標どおりの見本になってくれる先生」「発達障害についての教員研修」などが寄せられました。来年度の経営計画作成にあたり、参考にさせていただきます。



○ 質問19保護者満足度調査

「自分の子供を三吾小に入学させて良かった」

平成 30 年度より毎年続けて聞かせていただいている質問です。平成 30 年度の肯定的回答が87.9%、令和元年度が83.3%と下降しましたが、今年度は97%と大変高い評価をいただきました。しかも、97%の内訳が、「当てはまる」が74%であり、「当てはまらない」という回答は0になりました。アンケート回収率が 90%を超える中、コロナ禍の学校の取組をこのように受け止めていただいたことに学校として感謝するとともに、この数値は今後の学校への期待値であると捉え、改めて身の引き締まる思いです。「オンライン保護者会」でもお伝えしたとおり、第三吾婦小学校では、保護者の皆さんが「お子さんをいい学校へ通わせる」のではなく、「お子さんの通っている学校をよくする」意識で、学校とともに子どもたちの教育を進めてまいりたいと考えております。今後も、学校の教育について、気になることや気付いたことがございましたら、お気軽にご相談いただければ幸いです。

○ 自由意見より

自由意見として、学校の取組への賞賛、教職員へのねぎらいの言葉など、たくさんの温かい励ましのお言葉をいただきました。これらのフィードバックで、教職員のモチベーションも高まります。ありがとうございました。

【対応済み・改善しました】

- 休みの連絡について児童への連絡ではなく、オンラインなどで報告できるようにしてほしい。→ 1月より変更
- トイレ除菌を徹底してほしいです。 → 以前より毎日、実施中
- 毎日必要ない教科書等を持ち歩き、ランドセルが重くなると骨の歪みや成長に支障が出ると問題になっていますが、対策していただけないでしょうか？ → GIGA スクール構想とあわせて改善
- オンラインでの学校公開をもっとしてほしいです。 → 2月に実施中
- 個人面談ですが、親だけではなく先生と生徒の個人面談もあっても良いかと存じます。 → 保護者面談・年2回、児

童は年3回の学校生活に関するアンケート調査とあわせて、個別に実施しています。

【検討中のご意見】

○遠足がマラソン大会と一緒にするのが不満です。今年は社会見学もなく、近隣他校では課外学習や遠足があるのに、三吾は予定ないみたいで不憫です。 → 当初の計画でマラソン大会は令和2年度より中止していました。遠足も感染の状況を見て実施の可否を判断しています。今年度は中止になったものも、行き先を変えるなどしてできる限り実施する方向で計画中です。



オンライン全校朝礼の様子

○不審者もかなり多いため、集団登校をしてほしい。親の負担があっ

てもいいのでパトロールなども増やしたい。 → 集団登校については、地域の子ども会で運営されています。今後、PTA や子ども会とも連携を図り、できる限り、児童の安全確保に努めていきます。

○給食を吐くまで食べさせるのをやめてほしい。完食指導や、全員が完食したら宿題なしなどの連帯責任性は、教育ではなく人権侵害ではないでしょうか。 → 子どもたちには、食育を通して必要な栄養価などについての指導をしています。個人差があるため、むりやり食べさせるようなことはしていません。毎月、全職員で給食についての確認をしています。今後も、引き続き気をつけていきます。

○きよならチャイム(16:30)で帰らず、暗い中、公園でたくさん遊んでいる。学校で注意をお願いします。

→ 学校でも定期的に指導をしています。ご家庭でも、外遊びについてのルールをご確認ください。

○コロナの影響もあり、土曜授業が多すぎると思います。来年度は月1くらいにしてほしいです。 → 来年度は月1回程度、一日3時間授業になります。

【墨田区教育委員会、区内全小中学校、その他で検討すべき事項】

○ホームページの形式をもう少し改善(スマホ対応など)して、活用してほしいです。 → 区教委で検討中。

○コロナ禍の対策で家族で体調不良者がいると、現在登校を控えなければならない。子ども自身に健康問題なければオンラインで学校の授業に参加できる設備など用意頂けるとありがたい。

○今に始まったことではありませんが高学年の学校拘束時間が長いと思います。放課後の自由時間が少ないと思います。全学年、5時間授業までで対応できるようなカリキュラムにしてほしいです。放課後、自分のやりたいことができる時間を作ってあげることも大切だと思います。

○ジェンダーバイアスを助長させるような時代遅れの絵図の国語プリントはやめてほしいです。洗濯物をたたむ女性の絵をみておかあさんとかかせる、野球をやる絵は必ず男の子、出張したり車を運転するのは必ず男性、登校する子どもを見守る絵に出てくる大人は母親(女性)など。公教育である小学校は特に、その点に無自覚であってはならないのではないのでしょうか。 → ご指摘の通りだと思います。教職員の人権感覚については常に磨きをかけていきます。

【その他】

○先日火事の話をしていて、煙の中は苦しいからハンカチは必ず身に付けてと話しましたが、コロナが落ち着いたらそのような体験もお願いしたいです。 → 今後、実施できるかどうかを消防署と相談してみます。

○親の状況を踏まえ、子供会・PTA 活動などを縮小してほしい。 → PTA 本部とともに検討中。縮小も少しずつ進めています。

○昨年度、校門前の挨拶運動、通学路旗当番参加しましたが、こちらから挨拶をしても無視をする生徒が多すぎることに驚きました。 → 「あいさつ笑顔」は優先的に指導していきたいと考えています。

○ようやく仲良しの友達ができはじめ、今年は授業開始も遅かったため子供の負担を考えるとクラス替えはないほうがいいのかと思う。 → 教育的効果を考え、今後、保護者の皆様と共に、変更についても検討していきます。